

麻疹(はしか)情報

— 予防接種について —

2008年1月1日から、麻疹は感染症法の5類感染症の全数把握疾患になり、診断した医師すべてに届出が義務づけられました。

横浜市内の麻疹報告者数は、すでに500人を超えており、約半数が予防接種を受けていません。

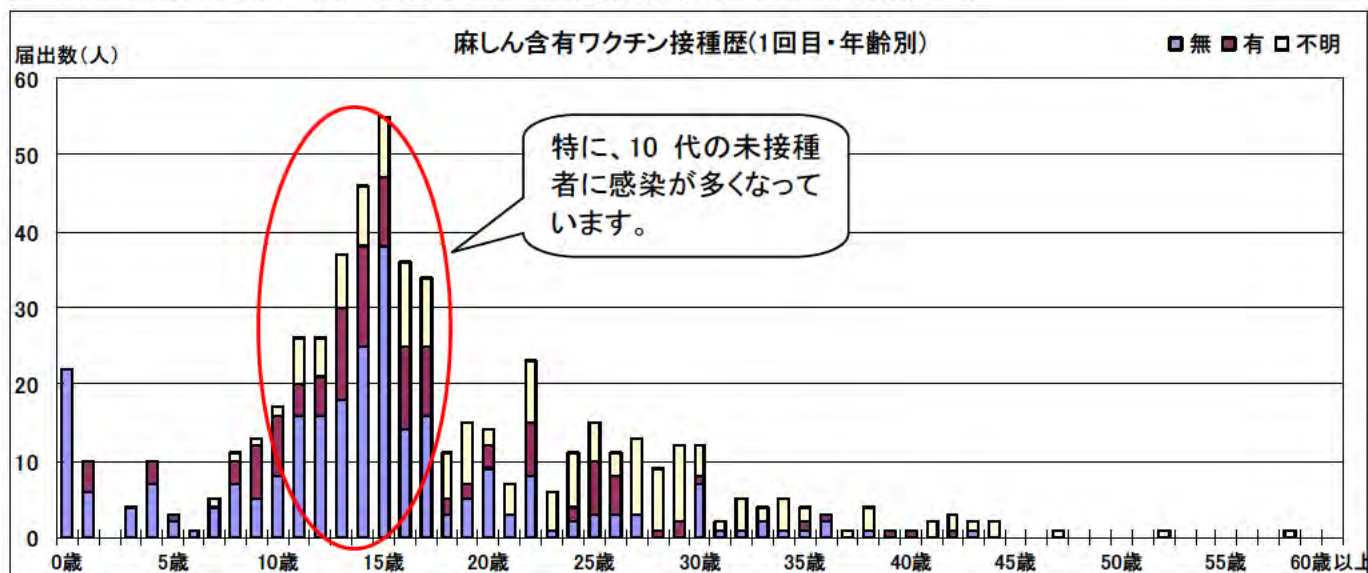
他の自治体と比べ、麻疹の発生数が非常に多くなっており、早急かつ、徹底した対策が必要なことから、さらなる麻疹対策として、平成20年3月21日から麻疹予防接種の未接種・未り患の方を対象に、市費負担による予防接種(任意接種)を実施します。

発症者が10歳代のワクチン未接種者に集中していることから、接種対象は1歳～高校3年生に相当する年齢で、麻疹予防接種を1度も受けておらず、麻疹に罹患していない方(定期予防接種対象者を除く)です。

予防接種が済んでいない方は、新学期が始まる前に、早めに接種しましょう！

麻疹(はしか)流行に伴う横浜市の緊急対策について (http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/oshirase/m_tyui.html)

横浜市における年齢別患者報告数および予防接種歴(3月12日届出分まで)



横浜市内の区別患者数等の詳細は、こちらをご覧ください。

http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/infection_inf/2008nen/measles-sokuhou.pdf

神奈川県などを中心に10～20歳代に麻疹が流行しています。

全国および横浜市近隣の麻疹患者届出数

3月12日現在

	第1週 1/1-1/6	第2週 1/7-1/13	第3週 1/14-1/20	第4週 1/21-1/27	第5週 1/28-2/3	第6週 2/4-2/10	第7週 2/11-2/17	第8週 2/18-2/24	第9週 2/25-3/2	第10週 3/3-3/9	計 1/1-3/9
全国	87	155	245	268	527	457	556	468	500	392	3,655
東京都	11	16	26	23	46	43	61	76	84	53	439
神奈川県	40	60	95	106	179	174	230	160	202	137	1,383
横浜市(再掲)	17	20	38	37	54	64	92	58	74	68	522
川崎市(再掲)	1	7	2	9	7	8	7	2	10	5	58
県域(再掲)	22	33	55	60	118	102	131	100	118	67	806
横須賀市(再掲)	14	22	40	46	65	62	83	50	55	34	471

<ワクチン接種について>

2007年、大学生の間で麻しんが流行したのは、1990年代以降、患者発生数が減少したことにあります。ワクチンを接種しても、麻しんウイルスに接する機会がないと、免疫が徐々に落ちていくためです。

そのため国は2006年に従来の1歳時に加え、6歳で2回目のワクチン接種の機会を設けました。

この対策からもれた10歳代については、2008年4月から5年間の期限で中1、高3で、2回目接種を行うことになりました。

2012年「麻しん排除」に向けて、小・中・高等学校世代が全て、2回の接種を完了する事を目指しています。

しかし、18歳から20歳代は、どちらの対策からも漏れてしまっており、大学での対応が必要とされています。

ワクチン接種は、自分を守るだけではなく、自分が感染源となるのを防ぐ社会防衛の意味でもあるという自覚が大切です。

予防接種が済んでいない方は、春休みのうちに接種を受け、新学期に備えましょう！

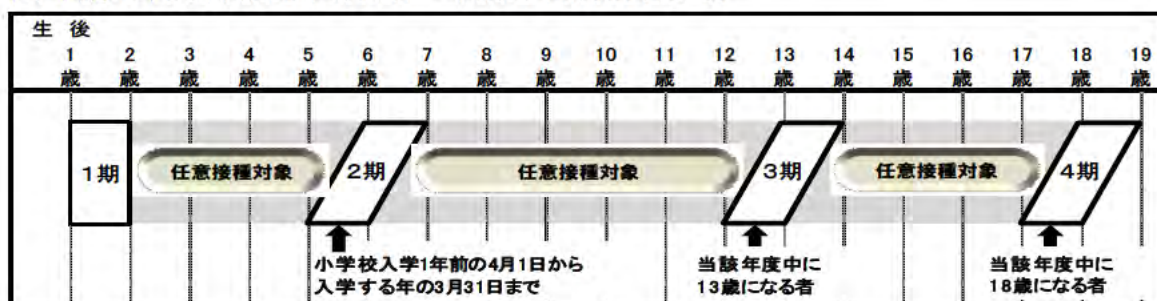
<横浜市での麻しん・風しん予防接種（国の制度に上乘せする横浜市の対応）>

横浜市に在住する1歳～高校3年生に相当する年齢で、麻しん予防接種を受けておらず、り患もしていない方への市費負担による予防接種（任意接種）を行います。

(1)平成19年度(平成20年3月21日～3月31日まで)



(2)平成20年度(平成20年4月1日～平成21年3月31日まで)



年齢別麻しんワクチンの2回接種対象

2008年3月末現在の年齢		
～7歳	従来の1歳に加え、6歳の定期接種(2006年開始)で、2回接種を終了	2008～2012年度までの時限措置
8～12歳	13歳時の定期接種で2回接種を終了	
13～17歳	18歳時の定期接種で2回接種を終了	
18歳～	自己負担による任意接種	

<2008～2012年度 麻しん・風しんワクチン定期予防接種対象者>

<第1期>:生後12か月以上24か月未満の者

<第2期>:5歳以上7歳未満の者であって、小学校入学前の1年間

	西暦	和暦	
2008年度	2002/4/2～2003/4/1生	平成14/4/2～平成15/4/1生	平成20年度
2009年度	2003/4/2～2004/4/1生	平成15/4/2～平成16/4/1生	平成21年度
2010年度	2004/4/2～2005/4/1生	平成16/4/2～平成17/4/1生	平成22年度
2011年度	2005/4/2～2006/4/1生	平成17/4/2～平成18/4/1生	平成23年度
2012年度	2006/4/2～2007/4/1生	平成18/4/2～平成19/4/1生	平成24年度

<第3期>:中学1年生に相当する年齢の者(年度内に13歳になる者)

	西暦	和暦	
2008年度	1995/4/2～1996/4/1生	平成7/4/2～平成8/4/1生	平成20年度
2009年度	1996/4/2～1997/4/1生	平成8/4/2～平成9/4/1生	平成21年度
2010年度	1997/4/2～1998/4/1生	平成9/4/2～平成10/4/1生	平成22年度
2011年度	1998/4/2～1999/4/1生	平成10/4/2～平成11/4/1生	平成23年度
2012年度	1999/4/2～2000/4/1生	平成11/4/2～平成12/4/1生	平成24年度

<第4期>:高校3年生に相当する年齢の者(年度内に18歳になる者)

	西暦	和暦	
2008年度	1990/4/2～1991/4/1生	平成2/4/2～平成3/4/1生	平成20年度
2009年度	1991/4/2～1992/4/1生	平成3/4/2～平成4/4/1生	平成21年度
2010年度	1992/4/2～1993/4/1生	平成4/4/2～平成5/4/1生	平成22年度
2011年度	1993/4/2～1994/4/1生	平成5/4/2～平成6/4/1生	平成23年度
2012年度	1994/4/2～1995/4/1生	平成6/4/2～平成7/4/1生	平成24年度

※ 2000/4/2～2001/4/1(平成12/4/2～平成13/4/1)生まれの者および2001/4/2～2002/4/1(平成13/4/2～平成14/4/1)生まれの者は、それぞれ2006(平成18)年度および2007(平成19)年度の第2期定期予防接種対象者でした。

<参考資料>

- ・ 麻疹(はしか)について
(http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/infection_inf/measle1.htm)
- ・ 麻しんの排除に向けて(横浜市衛生研究所検査情報月報2007年12月号)
(http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/inspection_inf/200712/measles-haijo.pdf)
- ・ 麻しん情報(横浜市衛生研究所検査情報月報2008年2月号)
(http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/inspection_inf/200802/measles.pdf)
- ・ 2012年麻疹排除に向けて(国立感染症研究所)
(<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html>)
学校等における対応等各種ガイドライン等が載っています。
15分間のわかりやすいビデオも見ることができます!